

東京病院ニュース

第23号

2009年1月1日発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘 3-1-1

TEL 042(491)2111 FAX 042(494)2168

ダイレクト・イン・ダイヤル 042(491)4134

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

新春の富士山

病院長 四元秀毅撮影

医療の新たな展開

昨年の新年号で米国のサブプライム・ローン破たんにつながった経済混乱が一部の不心得者により起こされた突発現象ではなく行きすぎた市場優先主義に起因する構造的現象との専門家の意見を紹介しましたが、その後の展開は当初の予想をはるかに上回るものになりました。欲と野望が資本主義という車の原動力であるからにはバブルの発生・破裂の繰り返しが宿命的なものといえ、歴史書によるとわが国最初の経済バブルの発生は約100年前の日露戦争直後とのことです。これは徳富蘆花が戦勝にうかれた人々を戒め第一高等学校での講演で「日本国民、悔い改めよ」と呼びかけた後のことですが、経済体制がグローバル化した今日、反省は世界レベルで必要といわねばなりません。

医療の世界でも問題山積です。今日のわが国の医療問題は、「患者」・「医療者」・「支払者」の三つの側面からみることができます。患者には医療レベルに関する懸念やいざというとき必要な医療を受けられないかも知れないという不安がつきまとい、医者は増える一方の仕事に疲弊し、支払者は増大する医療費への対処に四苦八苦の状態です。このようになった理由は単純ではありませんが、矛盾をきたした要因の一つに従来のわが国の低医療費政策があります。救急医療の分野で大きな問題が起こりやすいのですが、そこでみられる現象は、たとえて言うとうつすの樽に10杯分の水を入れようとしているのに似ています。しかも樽も万全というわけではなく、期待されている5杯分の水の収容もままならないという状態です。

問題解決のために厚生労働省は長年の方針を翻して医師数増加策に転じましたが、むしろより大きくシステム全体を見直すべき時期だと思います。とくに財政問題が重要で、従来の安上がりの医療政策から脱却しなければなりません。医療費の無駄遣いを是正するのは当然としても、「医療費30兆円上限」という妄想から解放され、必要な費用は負担するという合意を作る必要があると思います。増加する医療費の原資をどのようにして確保するかは大き

な問題ですが、医療技術が進歩し要求度が高まった現在、それに見合う高レベルの医療を提供できる体制を作るには財政的裏付けが必須です。最近、医療を単なる消費でなくむしろ重要な産業と考える発想が示されていますが、高齢化社会の昨今、このような積極姿勢に発想を転換する必要があります。医療関連分野が広がると雇用機会が産み出され、これらは旧来型の産業分野で不要になった過剰労働人口の受け皿として働くことになるでしょう。

医療現場の努力と改革も大事です。東京病院ではおかげさまで呼吸器科を中心に拡充がはかられつつありますが、今後、診療科をさらに充実させ、高いレベルの医療をいつでも提供できる体制を作って地域にいつそう貢献できるようになりたいものと念じています。

病院長 四元 秀毅



本年もよろしくお願いたします。(東京病院管理棟屋上にて)

前列左より 吉田看護部長、庄司臨床研究部長、四元病院長、

中島副院長、茅野統括診療部長

後列左より 戸丸経営企画室長、阿部管理課長、勝又事務部長、

根本薬剤科長、森企画課長、藤間庶務班長



年男・年女



年男

呼吸器科医長 寺本信嗣

今年1月で48歳になり、医師になって4半世紀が経過しました。人生50年の信長の時代から人生90年の時代に入し、これからの年齢の重ねの方が重要かもしれません。すべに旅立った恩師や友人のためにも、このあとの10年を大切に生きていきたいと思っています。

昨年、一般書の監修をしました。病気になったあとの経過を熟知する立場から、明日から行える対策と病院受診への道筋を示せたと思っています。本は手元に余っていますので、手にとって見たい方はお声をかけてください。



新年を迎えて

洗濯長 伊藤和行

明けましておめでとうございます。早いもので、東京病院に就職して27年になりました。建物も人も新しくなり、洗濯室のメンバーも少なくなり、業務の内容も随分わかりました。本年もメンバーが1名少ないですが、みんなで協力して洗濯室を盛り上げて行きたいと思っています。年末ジャンボもあたり、(ご想像にお任せ)とらぬ狸の皮算用でしたが、2009年に良いことが有りますように精進してまいります。この次の年男は、定年の年になりますかね！



新年を迎えて

臨床検査科 副技師長 上條敏夫

新年明けましておめでとうございます。

今年は4回目の「年男」ということで、自分の年齢が何事においても一喜一憂していた若き頃に比べ、ずいぶん年を重ねてきているのだと思わず実感してしまいました。

さて、近頃の社会情勢や周囲を取り巻く環境は厳しさが更に増してきています。この変動の多い時期に個人として最も必要なのは、強い心と健康な体だと考えます。したがって、常に明るく前向きな考え方を持てるよう心掛け、また運動も取り入れた体調管理もきちんと行わなくてはと思っています。

医療に携わる者としてまた東京病院検査科の一員として、特にスタッフとのコミュニケーションをはかり、「一人はみんなのために」を合言葉にチームワークを大切に、良き脇役として業務に邁進できたらと考えております。今後ともなにとぞ宜しくお願い致します。

最後に、本年の皆様方のご多幸を心よりお祈り致します。



新年を迎えて

企画課 財務管理係 酒井大介

昨年、財務管理係として会計窓口担当となり、あっという間に一年が過ぎていきました。

そして、東京病院へ来てから三年が経とうとしています。そろそろ仕事にも慣れてきたとありますが、今年も謙虚に仕事に取り組み、窓口業務をよりよくしていこうと思っていますのでよろしくお願い致します。



今年の抱負

6西病棟 看護師 松田陽子

明けましておめでとうございます。気がつけば2回目の年女となり、看護師として4年目になろうとしています。まだまだ新人だと思っていましたが、先輩や患者さまから「だいぶ貫禄がでてきたね」と言われてしまいました。日々忙しい病棟勤務ですが、少しずつ気持ちに余裕が出てきたように感じています。

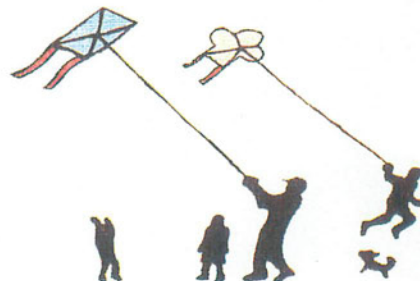
そこで今年は「フットワークも軽く笑顔で看護を実践する」を目標に掲げたいと思います。笑顔は常に心掛けているものですが、疲れてくるとなかなか難しいことでもあります。貫禄という威圧感たっぷりな言葉ではなく、新人のときの気持ち、姿勢を大切に、患者さまに快適で安全な医療の提供と、他の医療スタッフと気持ちよく仕事ができるよう今年もがんばってまいります。



年女

手術室 看護師長 大原美代子

私、丑年生まれでございます。子供の頃、父親よりよく言われていたことがありました。「おまえは返事はいいが、動作が遅い」私は、返事とははっきり元気よくするものと躰けられて育ちました。そして、動作が遅いのは「きっと丑年生まれだからだ」と子供ながらに思っていました。獣のような獰猛さもなければ、小動物のようなかわいらしさも持ち合わせておらず、理解するまでひとつのことを何度でも反芻し、納得がいくまで前へ進めない。そんな子供でした。子供の頃に培った性格は「三つ子の魂百まで」といわれるように変わるわけもなく、丑年を重ねるごとに、益々その傾向は強くなっていくような気がします。しかし、既に人生を折り返しているであろう現在、周囲に煙たがられるだけの頑固者にならぬよう、牛歩でもゆったりと安心感を与えることができるような歩みでありたいと願うこの頃でございます。



新 任 医 師 紹 介



呼吸器科医長 山根 章 (やまね あきら)

12月1日付けで東京病院に赴任しました。

出身地は島根県出雲市です。1984年に東京大学医学部を卒業し、同大学附属病院で1年間内科の研修した後、小平市の公立昭和病院に内科レジデントとして1年間在籍しました。研修終了後、東京大学第三内科に入局し、呼吸器グループに所属しました。その後、一時学外で研修したこともありましたが、主に大学の中で呼吸器の臨床と研究に従事していました。

2000年の1月から、5年間皇居で侍医を勤めた後、2005年4月から国立病院機構南横浜病院に赴任し、結核をはじめとする呼吸器疾患の治療にあたりました。そして、同院の廃院に伴い、当院で働くこととなりました。

私は、1986年に公立昭和病院のレジデントを辞した後も、同院の呼吸器外来のお手伝いを8年間続けていました。それで、また北多摩地区に帰ってくるのが決まった時には不思議な感じがしました。実際に西武池袋線に乗ると、西武新宿線に乗って通った頃を思い出しました。以前は清瀬までは来たことはなかったのですが、何となく懐かしい感じを覚えています。

当院でも、呼吸器疾患の診療を行うこととなりますが、特に専門分野を決めているわけではなく、幅広い臨床を行おうと思っています。

地域の皆様に貢献する医療を目指そうと思いますので、よろしくお願いいたします。

第62回国立病院総合医学会について

国立病院総合医学会(旧国立病院療養所総合医学会)は、戦後間もなく第1回目が開催され、それ以降半世紀以上の歴史を持つ学術集会で、全国の国立病院機構病院、国立高度専門医療センター、国立ハンセン病療養所の国立医療機関が一同に集い、日頃の研究成果等について発表・討議していますが、今年で第62回目を迎えました。

第62回国立病院総合医学会は、平成20年11月21日、22日に東京国際フォーラムにおいて約5,400名の参加のもと盛大に開催されました。今回は東京開催であったため当院は副会長施設として会長施設の東京医療センターと共に、昨年からの開催に向けた準備を進めてきましたが、2日間の学会が無事に終了できたことに胸を撫で下ろしているところです。

今学会のメインテーマは「医療の心を求めて」と題して、そのテーマに沿った特別講演、シンポジウム、パネルディスカッションが8会場それぞれ行われました。また、一般演題はすべてポスター発表形式により、54のカテゴリーで約1600におよぶ演題の発表と活発な討議が行われました。当院からは、シンポジストとして瀬川内科医長が「メタボリック・シンドロームと血管イベント」、矢倉病棟診療部長が「C型肝炎に対するインターフェロン療法の副作用」、永井外来診療部長・皆川看護師長が「東京病院緩和ケア病棟の現状と将来」、豊田呼吸器科医長が「結核医療現場における問題点」についてそれぞれ発表を行いました。一般演題については16演題が発表され、うち4演題がベストポスター賞を受賞しました(受賞演題及び発表者は下記のとおり)。今後も医療のさらなる充実を目指し、これらの研究成果等を日々の業務に生かしていただきたいと思います。

今回は平成21年10月23日・24日に仙台で開催する予定となっておりますので、今回以上に日頃の研究成果を披露できるよう準備をお願いいたします。

最後に、今学会に座長や演者として参加された皆様、また開催・運営にあたりご協力をいただき皆様に紙面をお借りし厚くお礼申し上げます。

管理課長 阿部 進

ベストポスター賞受賞演題及び発表者

- キーワードを用いて仮名文字訓練を行った症例 リハビリテーション科 主任言語聴覚士 藤塚史子
- シミュレーションを主体とした急変時の勉強会の効果-新人看護師を対象にして- 7西病棟 看護師 茂木裕美
- うつ状態における看護師の観察の視点の変化-脳血管障害急性期病棟にて- 3西病棟 看護師 奥田綾香
- 受け持ち看護師が患者の思いを知ろうとするときの動機の分析 5西病棟 看護師 駒井智子



受賞を喜ぶ5西病棟の駒井看護師と印牧看護師



ポスター発表をする西村薬剤師

5西病棟紹介



5 西病棟は肺癌、肺炎、肺結核後遺症、慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患を中心とした呼吸器内科病棟です。

在宅酸素療法や人工呼吸療法が必要な方や癌の化学療法で入退院を繰り返す方が多いので、指導など患者様との関わりを大切にした看護を行っています。



お散歩へいき
ましようか？

当病棟では、酸素療法や人工呼吸器療法などの集中治療も行うため、質の高い看護が提供できるよう努力しています。



いつでも対応でき
るようにトレーニング！



おそうじ！
おそうじ！



体外式人工呼吸器
をつけますね



5 西病棟は雰囲気明るくアットホームな病棟です。
心のこもったあたたかみのあるケアが提供できるよう
チームワークに磨きをかけています。

モットーは・スタッフの「笑顔と思いやり」です。(看護師長・中山)

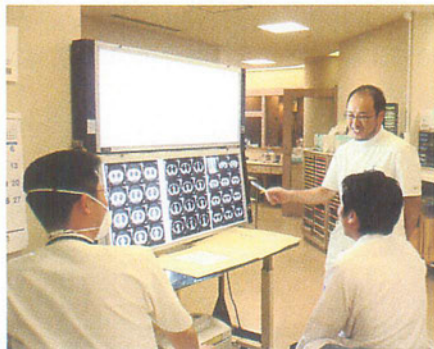


6東病棟紹介



6東病棟は、呼吸器内科病棟です。
急性期から慢性期などの病気で入院されている患者様を、
様々なキャリアの看護スタッフがお世話をさせていただいています。

検査結果が出ると、
医師の話し合いが行われます。



酸素ポンベは、
空になっては大変！



やさしさと安全をモットーに、
患者様にとって過ごしやすく、
スタッフにとって働きやすい環境作りに努
め、最善の医療を提供いたします。



Merry
Christmas



診療部長・医長紹介

平成20年7月7月1日より外来部門のマネジメントを任されました。専門は呼吸器内科です。

外来には毎日多数の初診の方が訪れます。初診の方は、おそらくご自分の病気の事が心配で、不安と緊張のため落ち着かない状態にあるかと思います。まず、訪れた人々がリラックスできるように対応する必要があり、心がけてまいりたいと思います。初めて来院され、ほんの少しでも嫌な思いをされますと、病院全体の印象が悪くなるかと思います。病院の顔、入り口である外来部門がしっかりしないといけないと強く感じます。

周辺の大きな病院の呼吸器科部門が縮小されつつあり、当院呼吸器科外来への依頼が急増しています。そのため、呼吸器科受診の皆様にはご不便をおかけしているかと思います。患者さんへのアンケート調査では、外来での待ち時間に関する不満が最も多いことが分かっています。予約時間枠の調節、予定通り進まない場合のお知らせ等少しずつではありますが、改善してまいりたいと思います。

その他の点につきましても患者さんの声に耳を傾け、患者さんの側に立った医療を目指してゆく所存です。よろしく願いいたします。

外来診療部長 永井 英明

平成20年7月より前任者の町田先生から引き継いで病棟診療部長を仰せつかりました消化器科の矢倉です。

東京病院に赴任して23年目になりますが、平成15年に新しい建物ができ、それまでの結核療養所の面影が全くなり機能的にも一般総合病院としての役割を担いつつあります。診療科目もこれまでの呼吸器科、呼吸器外科、消化器科、消化器外科、リハビリ科、神経内科、歯科、緩和ケアに加えて新たに循環器科、整形外科、眼科、耳鼻科、泌尿器科の診療が始まりました。それに伴いこれまでとは違い入院患者様の疾患が多岐にわたるようになりました。また、高齢化に伴う転倒、転落、徘徊などの新たな問題が生じてきています。

今後は医療の質と安全の確保、患者サービスの向上、円滑な病棟運営ができますように努力する所存ですので皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

病棟診療部長 矢倉 道泰

当院では最近、結核以外の呼吸器疾患の患者さんが増加してきたことから、平成20年9月に一般呼吸器内科系病床を200に増床しました。結核の100床を加えると計300床と、他に類をみない規模であり、6つの病棟、6名の病棟医長の元、医師達が日夜診療に励んでおります。また、近隣の医療機関との連携強化の要請から、外来診療規模も拡大傾向にあります。このような状況下、医師達をまとめて医療のレベルと質の維持・向上をめざすため、呼吸器内科部長職が新設されました。

私は平成3年当院に着任し、最近では一般呼吸器内科の5東病棟医長として診療にあたっておりました。ここ1年で頼りにしていた先輩医師達が定年等で辞められ、この先この呼吸器内科をどうしたものかと思いがぐねっていた矢先の拝命でした。しかし、途方にくれてばかりではいられません。とりあえずは、内外とのコミュニケーションにつとめること、医師が働きやすい環境を整えること、病棟や外来をくまなく見渡して問題の解決につとめること等を目標にしたいと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。

呼吸器内科部長 赤川 志のぶ

平成20年6月から、東京病院にお世話になっています。まだ、赴任間もないのですが、思いがけず、9月から6西の病棟医長を仰せつかりました。

スタッフは大変優秀で、気持ちよく働けますが、それ以上にベッド数が多く、マンパワーの不足は否めません。事故なく、患者も家族も、医療スタッフも幸せになれるような病棟が理想です。

循環器や消化器の病棟として培われてきた伝統を守りつつ、新しい息吹を加えていきたいと考えています。航海には早すぎる小舟ですが、一つ一つの波を越えるごとに力をつけていきたいと願っています。

皆様、温かく見守っていただけますと幸いです。

6西病棟医長 寺本 信嗣

MRI 装置の更新

放射線科

SIEMENS

MAGNETOM Avanto

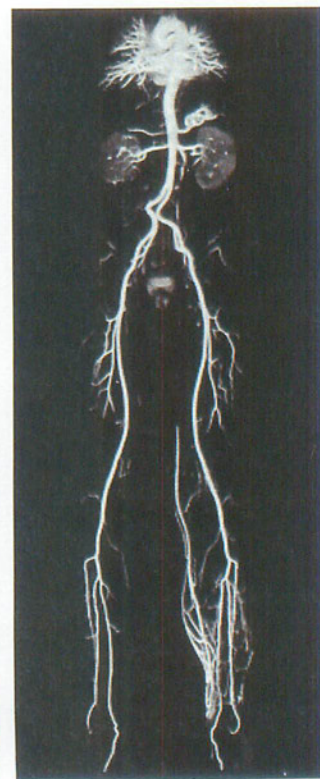
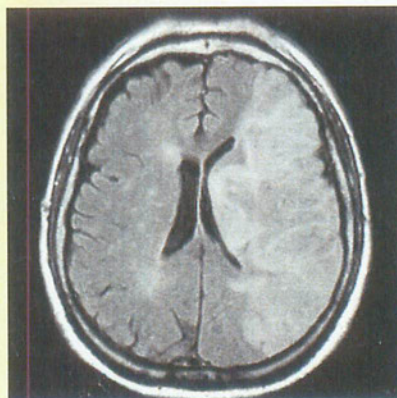
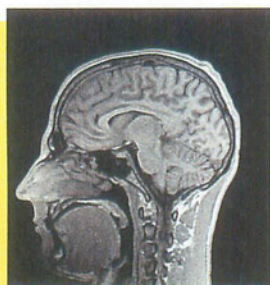
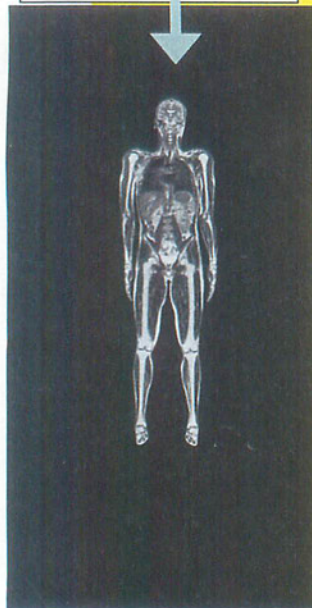
0.5 テスラ MRI に代わり、SIEMENS 社
1.5 テスラ MRI に更新されました。

新 MRI では従来のものと比較してスピー
ド・分解能が大幅に改善されました。また検
査時間と息止め時間の短縮、騒音レベルの
97%カットにより被験者の負担を大きく軽減
させることができます。スキャンでは最大
205cm の実効 FoV により全身領域の撮像が
可能です。一度のポジショニングで全身を一
気に撮像して血栓症や転移層の探索を行い瞬
時に関心領域にフォーカスした精査に移行する
ことができ、日常のルーチンワークをより効率的
に行うことができます。



Tim Total Imaging Matrix

Tim は各部に使用するコイル同士を連結させて検査に必要な撮像領域を確保し
ます。従来法では各コイルごとにセッティングを行う必要があり広い領域や他部
位に渡る撮像には大変時間がかかっていました。Tim は一回のコイルセッティ
ングで局所から全身までの撮像をシームレスに行うことができます。



看護部就職説明会

看護部では、毎年4月から翌年度に就職する方を対象に、いくつかの病院が集まって行う合同就職説明会への参加と実際に東京病院に来ていただき見学してもらう病院見学会を行っています。今年は、東京病院をより知ってもらうために病院パンフレット、募集要項の他、病院の写真を入れた手帳やロゴマークを入れた病院グッズを準備し、説明会や見学会に参加してくれた人に配布しました。

合同就職説明会では、関東地区はもちろん遠くは九州、東北地区での就職説明会に参加しました。ここでは、病院・看護部の理念、診療科の説明や勤務体制、看護部の教育体制について説明しています。参加者からは、診療科、勤務体制や教育体制について質問があります。また、病院名が「東京」とついているためどこにあるのかという質問を受けます。清瀬は、都心に近く、緑豊かな住みやすい街であることをアピールしています。

病院見学会は、昨年まで行っていた内容に加え、「インターンシップ」と称して、学生が白衣に着替え、病棟で看護師と同じ行動を体験できるようにしました。参加した学生は、実習とは違い、自分がその病棟で働く視点で病棟内を見ることができ、イメージが付きやすいと好評でした。

4月から新しい仲間が増えるのを楽しみに、新採用者が、職場に慣れ働きやすい環境づくりを進め、看護の質を維持していけるように準備を進めていきたいと思ひます。

(専任新人教育担当：亀崎智都江)



病院グッズ



合同就職説明会 病院ブースでの説明



インターンシップ後の意見交換会



パス大会が開催されました

当院では年1回パス大会を開催しています。平成20年度のクリニカルパス大会は、12月2日に行われ、医師、看護師、薬剤師、リハビリ部門等、多くの部門からおよそ130名が参加しました。クリニカルパスの使用状況や問題点など、職種を超えて幅広く意見交換しました。

クリニカルパスとは

標準的に行われることの多い疾患の、治療・検査・リハビリなど一連の医療行為の流れを作成した診療計画書です。医師・看護師をはじめとした、たくさんの医療スタッフが、質の高い医療を追求し、チームでよりよいスケジュールを作成しています。

病気の治療内容とタイムスケジュールを明確にしたことで、患者さんは、その日どんな検査があって、いつ手術をして、いつ頃には退院出来るかということがわかります。また医療スタッフにとっても、どのような医療行為をいつ、誰が行うのか、患者さんへの説明や指導はどのようにするかが明確になります。さらにチームとしての医療サービスをスムーズに提供でき、入院生活の不安を少しでも解消することに繋がります。



クリニカルパス大会

当院では内科・外科の検査やがん化学療法など約50種類のクリニカルパスがあり、年間3000件ほどの使用報告があります。作成したパスを発表し検討するパス大会も開催しています。外来棟ではこれを機会に院内のクリニカルパスについてご紹介させていただきました。

看護部クリニカルパス委員
副看護部長 前田 沙織



第3回クリニカル・パス大会の審査結果は、 松永循環器科医長の「心臓カテーテル検査」が病院長賞を受賞しました！

この度、第3回院内クリニカル・パス大会にて病院長賞を戴きました。

当科では2007年10月の心臓カテーテル検査開始時よりパスの運用を開始しており、昨年末で200例を超えることが出来ました。

看護師さんのものと思っていたクリニカル・パスに関して、循環器科という診療科が賞を戴くのは気が引けるのですが、これも6階西病棟と3階東病棟の看護師さんのご尽力のお陰であると思っております。

クリニカル・パス法の定義で最も認められているのは、「医療チームが共同で開発した、患者の最良のマネジメントと信じた仮説 (Spath 1994)」というものです。医師を含めた医療チームがパスの運用に関与し、運用した経過や予後に関して医師が責任を持つことがパス運用の成功の鍵となります。何らかのコンセンサスに基づいた仮説を立ててパスを作成し、運用中に不都合があれば改善し続けていくことがコスト削減と同時に医療安全上も重要であると考えています。(循環器科医長 松永 洋一)



前列中央が病院長賞を受賞した松永循環器科医長

副院長賞に4西病棟「ラジオ波 (RFA) 検査」
統括診療部長賞に消化器外科「がん化学療法」
看護部長賞に5西病棟「在宅酸素療法」

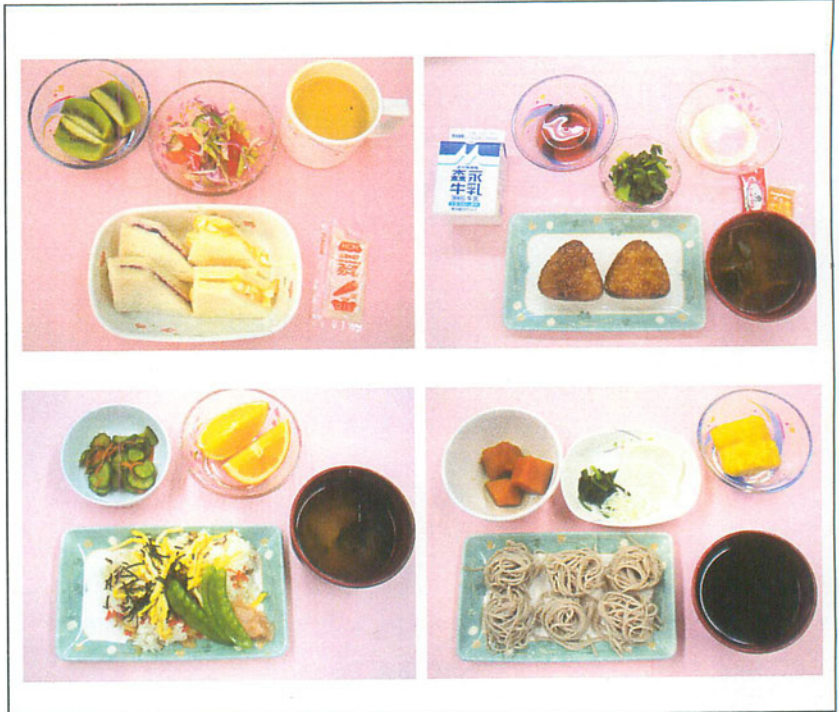
化学療法食をリニューアルしました

栄養管理室では、以前の化学療法食からより患者様のニーズに合った化学療法食を昨年12月1日からリニューアルし提供しています。

化学療法を行っている患者様を対象にアンケートを行い、食欲不振の際にも食べられる食品・料理を調査し、献立を作成しました。抗がん剤の副作用による食欲不振が顕著な患者様に、少しでも食事を楽しんでいただけるよう量・内容を考慮し、バラエティーに富んだ献立（おにぎり、サンドイッチ、麺、ちらし寿司など）にリニューアルしました（右記写真）。

食事を召し上がった患者様からは、『おいしかった』『食べられてよかった』など感想をたくさんいただいております。

栄養管理室では今後も患者様のニーズに合ったより充実した食事の提供を目指していきたいと思います。皆様からのメッセージをお待ちしております。（栄養管理室 藤井）



イルミネーション

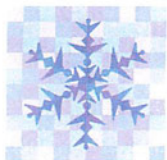
クリスマスが近づくと、街では色とりどりのイルミネーションの飾り付けが目立つようになりました。昨年からは東京病院の外來中庭にイルミネーションの飾り付けを行うようになり、今年も昨年以上に立派なイルミネーションをと思い実行いたしました。予算が限られていることから差ほど立派なものにはならないなあ…と心配していましたが、いざ飾り付けをしてみるとそんな心配はいりませんでした。患者さん達が足を止めて「すごーい！きれーい！」などの声が聞かれ、とても嬉しく思いました。職員一同、達成感と満足感で満ちあふれた気持ちになりました。

今年の出来を振り返ると、昨年は暖色系が少なく寒い感じのあったことを思いだし、今年は暖色系を少し取り入れ、流れる川をイメージしてみたことが良かったと思います。

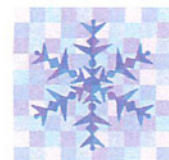
来年はもっとバージョンアップを考えておりますので、楽しみにしていただけたいと思います。

庶務班長 藤間 勝巳





クリスマスコンサート



2008年12月22日(月) 当院外来ホールにてクリスマスコンサートが開催されました。

今回は入院・外来の患者様、ご家族の方、地域の方など200人以上の方々に参加していただきました。和田さんのピアノと上原さんのクラリネットの演奏に加え、今年は、職員の有志と目白大学の看護学生さんによるクリスマスソングの合唱も行いました。参加していただいた患者様やご家族の方々も一緒に歌っていただき、和やかな雰囲気で行うことができました。ほんのひと時でしたがクリスマス気分を味わっていただけたのではないのでしょうか。職員の手作りコンサートでしたが、参加いただいた多くの方から好評のご意見をいただき、職員一同感謝しています。今年も皆様に楽しんでいただけるようなクリスマスコンサートを企画したいと思います。

看護研究会副会長 加藤明子



専門外来案内

専門外来名		診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
肝	臓	月～金	体がだるい、黄疸や食欲の低下、健診で肝障害のある方、平成4年以前に輸血を受けた方。
呼吸器関係外来	喘 息	火(午後)	「喘鳴」「発作性の咳」が主な症状です。特に夜間から明け方の咳き込みは要注意です。
	禁 煙 (予約制)	水(午前) 木(午後)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。[30分：5,250円]
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核に見えますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	気 胸	火	突然の胸痛、息苦しさを感じます。
	いびき・COPD(睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
アスベスト(予約制)	水(午前)	アスベスト(石綿)を扱うお仕事をした方。アスベスト吸入による肺の病気についてご心配な方。(予約制です。)	
手掌多汗症	金	今増加している疾病です。手のひら、腋、顔面の発汗が多い症状です。(汗で手が滑る、握手もできないこともあります。)	
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などがご心配な方。(あらかじめ神経内科外来を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など。(要神経内科外来受診。)	
糖 尿 病	木(午後)	のどがかわきやすい、体重が減ってきた。(無症状が多いので、健康診断で異常を指摘される場合が多い。)	
緩 和 ケ ア	木・金(午前)	苦痛の緩和を必要とする悪性腫瘍やエイズによる痛み等いろいろな症状でつらい思いをされている方。	

受付時間 8:30～11:00 診療時間 8:30～17:15
 午後の専門外来は、12:30より受付
 休 診 日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日から1月3日)

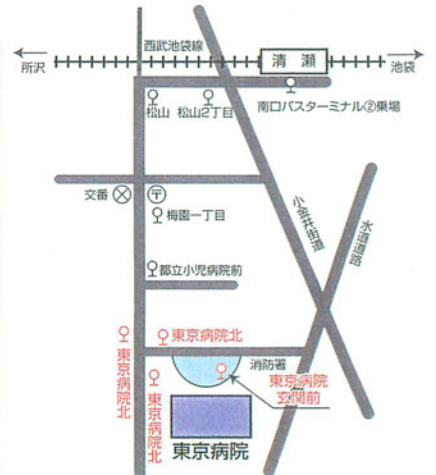
代表電話番号 042-491-2111
 内線番号がおわかりの方は042-491-4134
 (ダイレクト・イン・ダイヤル)をご利用下さい

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125(8:30～15:30)
 CT・MRI検査の申し込み : 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934(8:30～17:15)

診療内容 病床数560床

- 呼 吸 器 科
- 消 化 器 科
- 循 環 器 科
- リハビリテーション科
- 呼 吸 器 外 科
- 消 化 器 外 科
- 神 経 内 科
- 内 科
- 外 科
- 眼 科
- 放 射 線 科
- 麻 酔 科
- 整 形 外 科
- 緩 和 ケ ア 科
- ICU(集中治療室)
- ア レ ル ギ ー 科
- 泌 尿 器 科



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅南口バス3番乗り場より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車で越しの際は正面よりお入り下さい。(駐車場265台)
 30分以内 無料
 31分～2時間 100円
 以後1時間毎 100円
 (20時15分～7時 1時間毎300円)